

簡易な補修工法 (周辺施設)

周辺施設の保守・管理

(1) 安全柵が壊れている

安全柵の修繕

- 特殊な構造でない限り、ほとんどが簡易に補修できます。
- 安全柵が壊れている箇所を確認し、必要な材料の準備を行います。
- 支柱やパイプフェンスのパイプが折れ曲がっている場合には



金網の破れ



破損した金網フェンス

ハンマー等で叩いてなおします。叩いて直すことが困難な場合には、新たに部品を購入し交換しましょう。部分的に外れているだけの場合には、針金等で修復することも可能ですので、調達可能な材料を使って修復するように工夫しましょう。

- 補修完了後は、その他の部分についてもボルト、ナットのゆるみが無いか確認し、支柱の基礎地盤に隙間のあるような場合には突き固めて安定を図りましょう。

(2) 看板の交換・修繕



• 新たな看板の設置

水難事故防止のため、子供にもわかりやすい看板が設置されています。



看板を目につきやすい場所に設置したことにより、ため池に来る釣り人等にも注意喚起され事故防止に役立っています。